

目次

はじめに	1
特別支援学級「キャラクターを動かそう」	2
2年生 音楽 「ひょうしをかんじてリズムをうとう」	3・4
3年生 社会 「安全な暮らしを守る」	5・6
4年生 音楽 「明るい歌声をひびかせよう」	7・8
5年生 算数 「合同な図形」	9・10
5年生 算数 「変わり方を調べて」	11・12
6年生 算数 「図形の拡大と縮小」	13・14
6年生 算数 「速さ」	15・16
6年生 理科 「発電と電気の利用」	17・18

はじめに

数年前に「プログラミング教育の必修化」が世の中に発信され、私たち現場の教員は大変困惑しました。そのような中、アドバイザーの竹中章勝先生との出会いもあり、3年前に6年生の算数科「変わり方を調べて(1)」の単元でプログラミング教育を本格的にスタートさせました。その後、教員それぞれが研修会に参加したり書籍を読んだりして、プログラミング教育について学んできました。

本実践事例集はプログラミングに対して経験が浅い教員で作ったものです。未熟な研究成果ですので、至らない点や不十分な点があると思いますが、一読し活用していただければ幸いです。同じような経験値を持つ先生には、「こんなプログラムが必要なんだな」、すでに取り組んだことのある先生には、「もっとこんな流れがいいな」などたくさんの意見を頂ければと思います。このような実践を今後も継続して取り組み、より深めていくことが私たちの使命だと考えています。

今の子どもたちのすぐそこにある未来はこれまでに前例のない世界だと言われています。そんな情報化が進化する社会において求められる情報活用能力を高めるため、プログラミング教育の深い学びをこれからも追究していきたいと思います。

京都府綾部市立綾部小学校長 村上 元良
京都府綾部市立綾部小学校 教材開発部